

新大人研に「孫の日」推進プロジェクトチーム発足
～10月第3日曜日は、孫へ「靴」を贈る習慣を提案～

博報堂新しい大人文化研究所（所長：梅村太郎、以下 新大人研）は、毎年10月の第3日曜日の「孫の日」をきっかけに、お孫さんとの絆を深める機会を創出する「孫の日（まごのひ）」推進プロジェクトチームを発足させました。

新大人研の「孫の日」推進プロジェクトチームは、最初の取り組みとして、本年10月15日の「孫の日」に、「孫の日には、靴を贈る」という習慣を提案、靴販売店の店頭でプロモーション施策を行うこととなりました。

子どもの成長は早く、年ごとに足のサイズが大きくなることから、毎年贈るギフトに適しています。また、成長が実感できるだけでなく、人生の長い道のりが待っている孫世代へ、その歩みを支え、応援したいという、祖父母からの願いを込められる贈り物でもあります。身につける頻度が高いこともあり、贈られた孫世代も、祖父母に思いをはせる機会が多くなるでしょう。



現在の祖父母世代が、引退して社会や家族に支えられる存在から、まだまだ人を支える元氣と意欲に満ちた存在へ、大きく変わろうとしています。

そんな「支え」の一つとして、身近な孫に、人生の先輩としてエールを贈る「孫の日」が、世代を超えた交流の広がる、素敵な一日になることを目指して、「孫の日」プロジェクトチームは今後も活動してまいります。

■「博報堂 新しい大人文化研究所」(新大人研)について

「新大人研」は、博報堂エルダービジネス推進室(2000年設立)を前身とし、2011年2月に設立されました。17年間のナレッジの蓄積を持っています。従来の中高年層の間で一般的であった意識やライフスタイルとは異なる、新しい40~60代が誕生しています。新大人研では、年を重ねるごとに前向きな意識を持つ、この新しい中高年生活者を「新しい大人」と名づけ、少子高齢化社会にプラスのインパクトを与える重要な存在として調査・研究しています。さらに、2015年からはクリエイティブなどの実践機能も本格的に加え、よりよい未来のためのソーシャルイノベーションを起こす社会のエンジンを目指しています。今年度は『新大人研レポート 新しい大人へ: オンナも変わるオトコも変わる』をシリーズで連続発表の予定です。